

通学（会場受験）スケジュール

実施日程

| 日程 | A日程 | B日程 | C日程 | D日程 |
|-----|------------|------------|------------|------------|
| 1日目 | 26/2/18(水) | 26/4/22(水) | 26/5/13(水) | 26/5/27(水) |
| 2日目 | 19(木) | 23(木) | 14(木) | 28(木) |
| 3日目 | 21(土) | 25(土) | 16(土) | 5/30(土) |
| 4日目 | 22(日) | 26(日) | 17(日) | 31(日) |

実施校

| 地域 | 本校名 | A日程 | B日程 | C日程 | D日程 |
|-----|---------|-----|-----|-----|-----|
| 関東 | 水道橋本校 | — | — | — | ○ |
| | 渋谷駅前本校 | ○ | — | ○ | — |
| 関西 | 梅田駅前本校 | — | ○ | ○ | — |
| その他 | 札幌本校 | — | — | ○ | — |
| | 名古屋駅前本校 | ○ | — | — | — |
| | 福岡本校 | — | ○ | — | — |
| 提携校 | 金沢校※ | — | — | ○ | — |

※設置済みPCあり、受験方法については金沢校に直接お問合せください。

タイムテーブル

| 日程 | 着席時刻 | 試験時間 | 試験科目 |
|-----|-------|-------------|------------|
| 1日目 | 13:30 | 13:45～15:45 | 論文公法系(第1問) |
| | 16:15 | 16:30～18:30 | 論文公法系(第2問) |
| 2日目 | 9:45 | 10:00～12:00 | 論文民事系(第1問) |
| | 13:00 | 13:15～15:15 | 論文民事系(第2問) |
| | 15:45 | 16:00～18:00 | 論文民事系(第3問) |
| 3日目 | 9:15 | 9:30～11:30 | 論文刑事系(第1問) |
| | 12:30 | 12:45～14:45 | 論文刑事系(第2問) |
| 4日目 | 9:45 | 10:00～11:15 | 短答(民法) |
| | 11:45 | 12:00～12:50 | 短答(憲法) |
| | 14:00 | 14:15～15:05 | 短答(刑法) |

※解説講義は全て自宅受講となります。

模試を受けるにあたって

- 答案作成はご自身のパソコンで行っていただくため、パソコンをお持ちください。

受講料

※申込締切日があります。詳しくはWEBページをご確認ください。

※CBT動作環境は必ずお申込み前に別途「CBTリーフレット(LV25014)」又はWEBページをご確認ください。

| 受講形態 | | 一般価格 | 大学生協・書籍部価格 | 代理店書店価格 | 講座コード |
|------|------|---------|------------|---------|---------|
| | | 税込(10%) | | | |
| 会場受験 | Web※ | 20,350円 | 19,332円 | 19,943円 | LA25888 |
| 自宅受験 | | 20,350円 | 19,332円 | 19,943円 | LB25888 |

※音声DL＋スマホ視聴付き

■一般価格とは、LEC各本校・LEC提携校・LEC通信事業本部・LECオンライン本校にてお申込される場合の受付価格です。

■大学生協・書籍部価格とは、LECと代理店契約を結んでいる大学内の生協、購買会、書店にてお申込される場合の受付価格です。

■代理店書店価格とは、LECと代理店契約を結んでいる一般書店（大学内の書店は除く）にてお申込される場合の受付価格です。

■上記大学生協・書籍部価格、代理店書店価格を利用される場合は、必ず本冊子を代理店窓口までご持参ください。

※欠席した場合の配布物の受領可能期間は当該実施日を含めて1ヶ月間とし、それ以降はお渡し出来ませんのでご注意ください（LEC申込規定第9条5項）。

【解約・返品について】

1. 弊社所定書面をご提出下さい。実施済受講料、手数料等を清算の上返金します。教材等の返送料はご負担頂きます（LEC申込規定第3条参照）。
2. 詳細はLEC申込規定（<http://www.lec-jp.com/kouzamouushikomi.html>）をご覧ください。

模試申込者限定特典「矢島講師特別講義」



矢島 純一 LEC専任講師

令和8年度版『伝聞証拠・要証事実徹底分析』全1回(4時間)

本講座は、司法試験の論文試験の刑事訴訟法の科目で出題頻度が高い伝聞証拠に関する思考方法を完全に修得するための講座です。伝聞証拠で高得点を狙えるかは、問題となる証拠の要証事実を正確に把握できるかにかかっています。本講座では、ショート事例や論文試験の過去問の事例を用いて、要証事実の捉え方を徹底的に理解した上で伝聞証拠の該当性の判断を正確にできる能力を身に付けていきます。